様式第１号（第２条関係）

寄　附　金　申　込　書

平成　年　月　日

　住田町長　様

|  |  |
| --- | --- |
| 住　所 | 〒 |
| 氏　名 | （団体名） |
| 連絡先 | ℡Ｅ-mail　 |

次のとおり、住田町まちづくり応援基金に対して寄附したいので、申し込みます。

　　　　　　　　　一金　　　　　　　　　　円也

１　上記寄附金の使途の指定内訳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業の区分 | 寄附口数 | 寄附金額 |
| ①「森林・林業日本一の町づくり」に関する事業 | 口×5000円 | 円 |
| ② 子育て、福祉及び医療の充実に関する事業 | 口×5000円 | 円 |
| ③ 教育、文化及びスポーツの振興に関する事業 | 口×5000円 | 円 |
| ④ 住民活動団体の支援に関する事業　（裏面の一覧表を参考に、希望する住民活動団体の番号をお書きください。→【　　　】）※支援する活動団体への情報公開の承諾（いずれかにチェック☑してください。）□　承諾する　　　　　　□　承諾しない | 口×5000円 | 円 |
| ⑤ ①～④以外のまちづくりに関する事業 | 口×5000円 | 円 |

※ 寄附することで、特別の利益を受ける場合（例：④の団体に寄附したことで、会費の軽減を受ける場合など）は、寄附金の税額控除の対象となりません。

２　希望する寄附の納入方法（いずれかにチェック☑してください。）

　　□　郵便振替・納付書　　□　役場へ持参

３　ワンストップ特例制度の利用希望（いずれかにチェック☑してください。）

　　□　利用する　　　　　　□　利用しない

※ こちらへのチェックのみでは特例制度の適用対象となりません。後日送付します「寄附金税額控除に係る申告特例申請書」に、必要事項をご記入・ご捺印いただき、ご返送いただく必要があります。

４　情報公開の希望（いずれかにチェック☑してください。）

□　希望する　　　　　　□　希望しない

※　氏名又は団体名、住所（市町村名まで）、寄附額、使途内訳の情報をホームページなどで公開します。

**町内の住民活動団体の支援一覧**

住田町まちづくり応援寄附基金にご寄附をいただき、事業区分①②③⑤を選択し、かつ10,000円以上の個人寄附者（住田町に住所を有する方を除く）を対象に、本町ゆかりの品をお送りします。

対象となる方は、別途「特産品の申込書」を提出してください。

支援を希望する住民活動団体の番号を①～⑪の中から選び、申込書に番号をご記入ください。

　藩政時代伊達藩直轄の火縄産地であった五葉山守護の為、上有住檜山地区にあった火縄銃鉄砲隊の復元保存と、砲術の習得を図り、地域の歴史を後世に伝えることを目的とする。

　①火縄製造技術の習得、伝承②古式砲術流儀（森重流）の習得、伝承③鎧製作、補修④住田町夏祭りや滝観洞まつり、仙台青葉まつりなど各種イベントなどでの演武披露を行っている。

①五葉山火縄銃鉄砲隊伝承会

　会員数　４４名　平成　３年　２月設立

　“音楽を通じて町を盛り上げる！”をメインテーマに活動している。町内外のイベントに参加したり、音楽イベントを企画している。音楽で世代間交流を行っている。

　①住田町夏祭りLive、②住田町役場新庁舎落成記念Ｌｉｖｅ、③いわて若者文化祭＠盛岡、④アリスの不思議な文化祭Live、⑤Toshi-LowアコースティックLive後援、⑥バリ蔵in Sumita Clutchなどの多数のイベントでの演奏を行っている。

④Sumita　音楽サークル『音蔵』（ねぐら）

　会員数　１７名　平成２５年１１月設立

　会員のチェンソーアート技術の向上及び会員相互の親睦を図ること、チャンソーアートを安全に普及すること、森林及び自然環境の保全に寄与すること。森林資源を活かした地域の活性化に寄与すること、次代を担う子ども達に「木の素晴らしさや木を利用する楽しさ」「森林の持つ豊かな可能性」「自然環境・環境の大切さ」を伝えることを目的として活動する。

　平成２４年度からチェンソーアート競技大会の開催、文化産業まつり、軽トラワゴン市、気仙管内各種イベントなどにおけるチェンソーアートデモンストレーションを行っている。また。木でできた「森の動物園」「森の水族館」なども開催している。　東日本大震災後は、被災した気仙管内の保育園、小中学校、高校へのチェンソーアート作品も寄贈している。

②SUMITAチェンソーアート　杣遊会

　会員数　２６名　平成２２年　５月設立

　地域の情報を文章化、映像化又は音声化し、テレビ、新聞などのメディアを使って発信するための企画、取材、編集などの技術養成とさまざまな分野で総合的にまちづくりを企画、実践できる人材の養成を行う。住民が情報発信やまちづくりを主体的に行うことができる地域づくりに寄与することを目的とする。

　平成２５年５月から住田ケーブルテレビの番組を制作し、月１回更新で更新し放映している。町内の５地区（世田米・大股・下有住・上有住・五葉）を巡回する番組や地域の活動団体、小さな行事や頑張っている人などを紹介している。

③ねんぷにやっぺしの会

　会員数　１４名　平成２５年　３月設立

　若者の教育機会を経済的側面から支援し、今後の岩手県を担う人材を育成する為に、他県の協力団体と共にインターシップ等の教育の場の提供を行っていく。

　また、地域内において社会課題解決の為に公益的活動を行おうとする団体を対象に社会的・経済的諸資源の仲介を図る。

　具体的には、①地域の学生に対する奨学金の支給、②奨学金受給者に対する人材育成事業、③地域産業の振興発展に関する活動の助成、④地域の社会生活環境の整備に関する活動の助成、⑤災害被害の救援、復興支援活動に関する活動の助成といった活動を行っていく。

⑥一般財団法人　地域人材支援財団　※28.4.1追加

　会員数　７名　平成２８年　３月設立

　「すみたの活性化の為」、「すみたの将来の為」、「すみたの未来を担う子ども達の為」に地域住民並びに町に関わりのある、関わりを持つであろう個人及び団体と連携を図り、町の振興に寄与できるようなイベント、観光、分科、雇用、交流、人的資源などを生み出す場として機能させることを目的とする。

　「すみたをツナグ」をテーマに掲げ、目的に沿う活動であれば、外部人材を招聘した講演会（地域おこし、地域づくり）の開催や、プロのミュージシャンを招聘したコンサートの開催など、ジャンルにとらわれることなく、住田町を盛り上げることにツナガルことを実施している。

⑤一般社団法人　SUMICA　※28.4.1追加

　会員数　７名　平成２７年　７月設立

　住田町の自然の良さと暮らしの知恵を、多くの人に伝え守り育てることを目的として、種山ヶ原で季節の散策会、子ども達を対象とした森林環境学習、一般の方を対象とした散策ガイドなどのイベントを開催している。

⑦すみた森の案内人　※28.4.13追加

　会員数２３名　平成１９年　４月設立

　住田町を拠点に、仮設住宅のコミュニティ支援活動をはじめ、地域づくりに取り組む団体。

　地域住民、まちづくり組織及び地域外の主体とのつながりを活かし、まちづくり、まちのファンづくりを行っていく。

　①仮設住宅のコミュニティ支援、②まちの住民活動支援（「異団体交流会」「よりあいカフェしょうわばし」の運営）、③地域資源の活用・イベント企画（「アリスの不思議な文化祭」「メリークリスミタ」「みずしぎっぺコンテスト」の企画）、④都市部でのイベント・PR活動など、多数のイベントを開催している。

⑧一般社団法人　邑サポート　※28.4.13追加

　会員数２４名　平成２６年１１月設立

　農村での各種体験や、宿泊を伴う交流事業の実施民家として活動し、住田町のグリーン・ツーリズム及び都市農村交流活動の推進に取り組んでいる。

　これまでに、関東、中部地方からの教育旅行や社員研修などにより、約430名を受け入れている。

⑩すみた民泊協会　※28.5.10追加

　会員数４３名　平成２２年１１月設立

　柿内沢地区に伝承される柿内沢鹿踊りの保存並びに普及推進を図り、地域文化の向上及び伝統芸能の継承に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

　①鹿踊の習得及び伝承、②住田町夏祭りや文化産業まつりなどの各種イベントでの演舞披露を行っている。

⑨行山流山口派柿内沢鹿踊保存会　※28.5.10追加

　会員数３１名　昭和５９年　３月設立



　町内外の人とモノをつなぎ、交流の中で相互に幸せや喜びを感じることのできる循環を生み出す町づくりに貢献することを目的として活動している。

　例年の活動としては、名勝、史跡等観光に係る住民ガイド育成、観光資源調査を行ったり、住田町夏まつりの企画運営を行ったりしている。

　平成２７年１１月には、農林水産省ディスカバー農村漁村の宝において、優良事例としてグローバル賞を受賞した。

⑪住田町観光協会　※28.６.15追加

　会員数５５名　昭和４０年　４月設立

【住民活動団体の支援とは】

・町内に主たる事務所を置き、活動している上記の団体を対象としています。

・寄附をいただく方には、応援したい団体をお選びいただきます。

・お選びいただいた団体には、いただいた寄附金の95％を活動支援交付金として次年度会計にて交付します。残り5％は町が行う団体支援等の事業に活用させていただきます。

・この「④住民活動団体の支援」をお選びいただいた場合、町からの特産品送付はございませんので、ご注意ください。